



就任にあたって

安全性の高い医療の向上を目指して

副病院長（事故防止・安全問題担当） 医療安全管理部長 原 洩 保明

7月1日付けで副病院長（事故防止・安全問題担当）および医療安全管理部長を拝命しました原洩保明（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授兼任）です。

昨今の医療事故報道を初め、医療事故訴訟など、社会の医療の安全性に対する注目度と重要性は深まってきました。そのためには、日頃から安全性の高い医療を提供することによって事故を未然に防止し、また、発生した事故に対しては、迅速に公平で透明性のある対応を行うことにより社会的信頼を維持する必要があります。旭川医科大学病院医療安全管理部は、2002年8月の開設時より、医療事故を防止するためのシステムを構築することを目標に掲げて活動をしてきました。今の旭川医科大学病院医療安全管理部には部長の他、4名の副部長（ジェネラルリスクマネージャー：専従医師1名、専任医師1名、専従看護師2名）、専任薬剤師2名、兼任医師4名の他、事務職員を入れて計15名で構成されています。その任務は、医療の安全に関するあらゆる事項が含まれており、インシデントレポート等に関する調査・分析、医療安全のための改善策の企画・立案、院内各部署にお

ける医療安全管理状況の点検、医療の安全性に係る教育及び研修、医療事故防止マニュアルの作成など18項目に及びます。

また、病院全体の医療安全管理体制（図）として、医療安全管理部会議（週1回）、各部署に1名配属されているリスクマネージャーとの連絡会議（月1回）、医療事故防止対策委員会（月1回）、リスクマネージャー全体会議および事故防止啓発部会などを定期的に開催し、必要に応じて医療調査委員会などを適時開催して、安全な医療を維持しています。

道北、道東で唯一の特定機能病院である旭川医科大学病院の使命は、最先端で質の高い医療のみならず安全性の高い医療を提供することです。そのためには、職員全員が一丸となって、さらなる医療安全文化の向上を目指していきたいと思えます。

